

概要版



# ケンセツミライ HOKKAIDO mini

## 北海道の社会資本整備2024

地域と一体となって計画的かつ効率的な社会資本整備を進めていくため、北海道建設部が取り組んでいる施策や実施している事業を取りまとめました。



詳細版はこちらから  
ご覧になれます！



動画で見るケンセツミライは  
こちらからご覧になります！

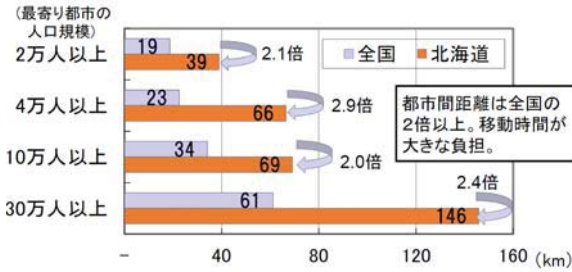
令和6年（2024年）4月  
北海道 建設部

北海道建設部  
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
(代表) 011-231-4111  
問い合わせ先：建設政策局建設政策課

# 北海道の地域特性と課題

## 広域分散型の地域構造と社会資本の状況

北海道は全国の22%を占める広大な大地に都市が点在する広域分散型の地域構造を有しており、都市間距離は全国平均の約2～3倍です。一方、道民生活や産業活動を支える高規格道路網の整備は全国に比べ遅れております。



注: 全国は北海道を除く。集計には離島を含まない。  
 ※最寄都市までの平均移動距離とは、対象人口規模未満の都市から対象人口の都市までの道路距離の平均値。  
 資料: 全国総合交通分析システム(NITAS) ver.2.8を用いて集計

### 最寄都市までの平均道路距離

【出典: 国土交通省】

【全国】(北海道を除く)



【北海道】



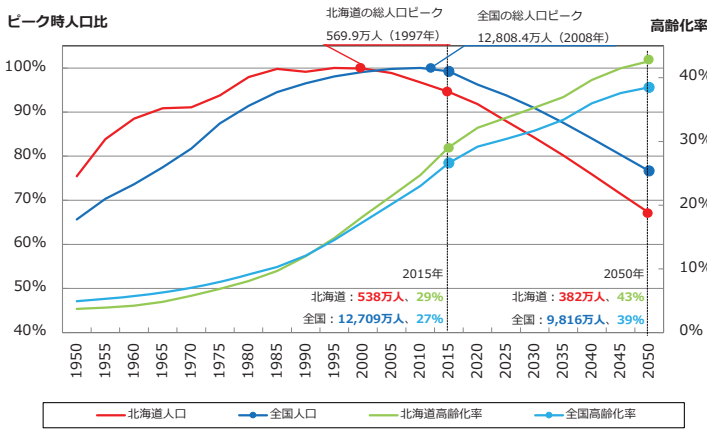
令和6年3月31日時点

### 高規格幹線道路の整備状況

【出典: 北海道調べ】

## 人口減少・高齢化の状況

北海道では全国を上回るスピードで人口減少が進んでおり、近い将来、高齢化とも相まって、経済、暮らし、行政などの幅広い分野において、深刻な事態になることが危惧されます。



### 道内人口の将来推計

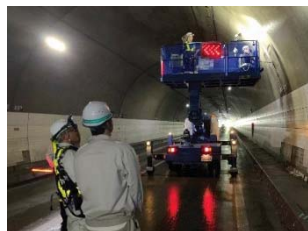
【出典: 人口推計(総務省)、将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)】

## 社会資本の老朽化

高度経済成長期に整備した社会資本の老朽化が進んでおり、20年後には多くの施設が建設後50年を経過します。



橋梁主桁の劣化



トンネルの定期点検の実施状況

## 積雪寒冷な気候

北海道は全域が積雪寒冷特別地域に指定されており、道が管理する道路延長約11,800kmの内、除雪が必要な道路延長は約10,300kmと全体の9割におよびます。また、道路の通行止め要因の約8割を吹雪や降雪などの雪害が占めています。



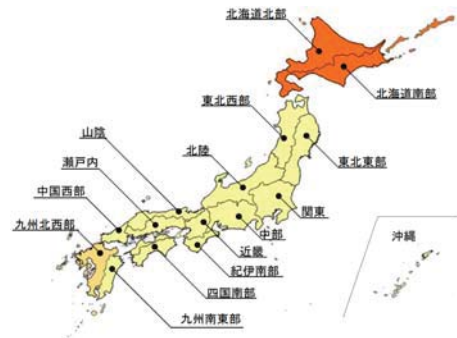
道路の除排雪作業



冬期間の道路状況

最大津波高 (m)

地域区分	2°C上昇		4°C上昇
	短時間	短時間	短時間
北海道北部、北海道南部	1.15	1.4	1.5
九州西北部	1.1	1.4	1.5
その他(沖縄含む)地域	1.1	1.2	1.3



## 積雪寒冷な気候

北海道は全域が積雪寒冷特別地域に指定されており、道が管理する道路延長約11,800kmの内、除雪が必要な道路延長は約10,300kmと全体の9割におよびます。また、道路の通行止め要因の約8割を吹雪や降雪などの雪害が占めています。



道路の除排雪作業

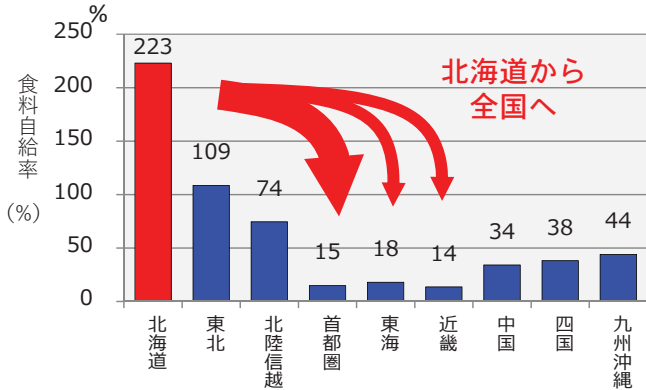


冬期間の道路状況

# 日本の安定と発展に貢献する北海道

## 食料安全保障の強化に貢献

北海道は、豊かな自然と広大な土地資源を活かして国内最大の食料供給地域として、安心・安全で良質な食料を安定的に生産・供給する役割を果たしています。



国内の食料自給率（カロリーベース）

【出典：令和3年度（概算値）の都道府県別食料自給率より算出（農林水産省）】

## 2050年カーボンニュートラルの実現に貢献

北海道では、豊富な再生可能エネルギーポテンシャルやCO<sub>2</sub>吸収源となる広大な森林などを有しており、日本の2050年カーボンニュートラルの実現に貢献します。

## 北海道の秘めた力を発揮しよう！

北海道は再生可能エネルギーを創り出すポテンシャルが全国随一！



国が選ぶ脱炭素先行地域は北海道が5カ所（石狩市、上士幌町、鹿追町、札幌市、奥尻町）と全国最多（2022年11月1日現在）。地域の木材やもみ殻、温泉熱などの地域資源を使った取組も道内で進んでいます。

※風力発電、太陽光発電、中小水力発電、地熱発電は「再生可能エネルギー情報提供システム（REPOS）2022年3月修正版」（環境省）※バイオマス産業都市は2023年1月12日現在（農水省）、※森林面積は森林・林業統計要覧2022（林野庁）

## 北海道の再生可能エネルギーのポテンシャル

## 次世代半導体のプロジェクトに貢献

カーボンニュートラルや地方創生、生産性向上、少子高齢化、経済安全保障などの日本の社会課題の解決を図り、日本の持続的な成長には、デジタル化が必須です。

あらゆる産業のデジタル化を下支え、国の特定する重要物資に指定されている半導体の安定的な確保のため、国家プロジェクトの一環である次世代半導体の量産製造に貢献します。

## 2 nm以下の世界最先端半導体の量産を北海道で実現



次世代半導体工場イメージ図

【出典：北海道半導体関連産業振興ビジョン】

## 道民の命を守り、国全体の強靱化に貢献

自然災害に対する北海道の脆弱性を克服し、道民の命を守り、食料・エネルギーの安定供給を図るとともに、本州等とのネットワーク強化によりバックアップ体制を構築し、国全体の強靱化に貢献します。

## 観光立国の実現に貢献

北海道は知床などの大自然に恵まれ、アイヌの伝統文化、縄文文化、豊かな食文化を有するなど、日本の主要な観光拠点として観光立国の実現に貢献します。



スキー（倶知安町）



アイヌ古式舞踊（ウポポイ）



アドベンチャートラベルワールドサミット2023



第74回さっぽろ雪まつり（札幌市）コロナ禍前水準の239万人が来場

# 社会資本整備の基本方針と主要施策

## 防災・減災、国土強靱化

気候変動の影響などにより激化する自然災害から人命を守るため、「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」を重点的・集中的に進めるとともに、ハード・ソフト対策を総動員し、流域全体で取り組む「流域治水」を推進し、河川堤防や遊水地等の整備、砂防関係施設、海岸保全施設の整備などを行います。また、高規格道路のミッシングリンク解消など災害に強い国土幹線ネットワークの機能確保や災害に強い安全な道路交通環境整備を推進します。

### ■「流域治水」の推進

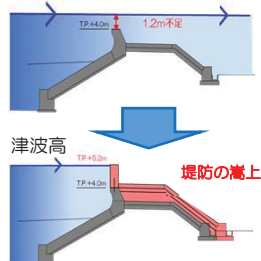


流域のあらゆる関係者が連携して取り組む『流域治水』

### ■高潮、津波、侵食などから地域を守る海岸保全施設の整備



浜中海岸（浜中町）



### ■災害に備えた安全な道路交通環境の整備

災害防止・景観向上（無電柱化）



都市計画道路3・4・5駅前通（木古内町）

### ■災害に強いまちづくり

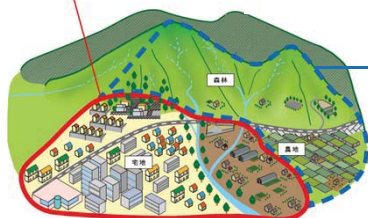
盛土等の規制



令和3年7月、静岡県熱海市で大規模な土石流が発生

#### 宅地造成等工事規制区域

市街地や集落、その周辺など、盛土等が行われれば人家等に危害を及ぼしうるエリアを指定



#### 特定盛土等規制区域

市街地や集落などから離れているものの、地形等の条件から、盛土等が行われれば人家等に危害を及ぼしうるエリア等を指定

### ■総合的な治水対策の推進



平成30年7月豪雨



16戸の家屋と132haの農地の浸水被害低減

パーパン川（旭川市）

### ■土石流、地すべり、がけ崩れ、火山泥流などから地域を守る土砂災害対策



整備前



整備後

タネトンナイ川（利尻町）

### ■下水道施設の耐震化



耐震前



耐震後

十勝川流域下水道浄化センター（帯広市）

### ■自然災害に備えた危機管理体制の充実と地域防災力の向上



土砂災害防止の防災教育

# インフラメンテナンス

これまでに整備した社会資本が損傷・老朽化することにより、機能が低下し、道民の生命や財産に危険が及んだり、生活や経済活動に支障が生じることのないよう、「公共土木施設の維持管理基本方針」に基づき、効率的・効果的な維持管理に努めています。また、施設の長寿命化を図り、必要な機能が適正に発揮されるよう、「北海道インフラ長寿命化計画（行動計画）」に基づき、社会資本の老朽化対策を戦略的に推進し、維持管理・更新等に係るコストの縮減・平準化を図ります。

## ■社会資本の日常管理



道路パトロール



災害時の対応（応急措置）

## ■社会資本の老朽化対策

### ▼橋梁



対策前



対策後

## ■施設管理の体制づくり



橋梁点検に関する講習会



高校生との懇談会

帯広建設業協会

### ▼樋門



対策前



対策後

# 持続可能な社会・経済の形成

北海道では、人流・物流の大半を道路交通に依存しています。経済活動を支え、地域の交流や発展に寄与する高規格道路等の整備を促進します。また、地域間の連携と交流を支える総合的な交通・物流ネットワークの形成、都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備を推進します。

子育てに配慮した公営住宅など安心して子どもを産み育てることができる環境づくりやユニバーサルデザインを取り入れた人にやさしいまちづくりを推進します。また、冬期交通確保のための除排雪の充実や地吹雪・雪崩対策など冬期における安全で快適な道路交通の確保を図ります。

## ■高規格道路等の整備促進と機能向上

### 高規格道路等の整備



旭川市街地の混雑状況

旭川空港

開通状況

市街地の混雑解消と空港等へのアクセス向上

ひがしかぐら

高規格道路 旭川東神楽道路（旭川市・東神楽町）

## ■物流ネットワーク形成のための道路網整備



整備状況

道道名寄遠別線（遠別町）

## ■都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備



北海道ボールパークFビレッジ

道道 きたひろしま総合運動公園線（北広島市）

## ■子育て支援住宅の普及促進など安心して子どもを産み育てられる環境づくり

### 安全で安心して利用できる魅力ある公園整備



屋内遊戯施設の整備

オホーツク公園（網走市）

### 子どもを産み育てられる環境づくり



道営住宅

集会所

子育て支援事業の実施状況

道営住宅の集会所を活用した子育て支援事業（余市町）

# ゼロカーボン北海道の実現

ゼロカーボン北海道の実現に向け、再生可能エネルギーの導入促進、省エネルギー化、吸収源対策等の取組を推進します。

## ■住宅・建築物の更なる省エネ対策の強化



南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジ

## ■道有施設における脱炭素化の取組



北海道消防学校（江別市）

## ■持続可能な交通・物流サービスの展開



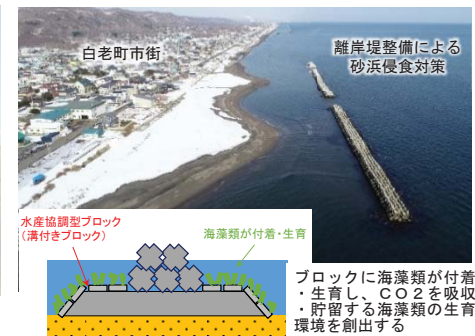
道道きたひろしま総合運動公園線  
(北広島市)

## ■下水汚泥の有効利用



(標茶町)

## ■ブルーカーボンの拡大



虎杖浜海岸（白老町）

# デジタル社会の実現

社会経済状況の変化に対応するため、インフラ分野においてもデジタル技術やビッグデータの活用し、社会資本や公共サービスを変革するとともに、建設現場の安全性や効率性の向上や働き方改革を推進します。ICTを活用した工事の導入、地図情報と連動した施設点検やパトロール結果などの情報の一元化などの取組を進めます。

## ■迅速な災害対応



ドローンによる被災状況の把握

## ■現場の安全性や効率性の向上



ICT建設機械（バックホウ）による掘削作業



## ■働き方の変革



ドローンによる橋梁点検と、画像解析ソフトの活用



## ■パトロールの効率化



パトロール日報の自動作成

# ケンセツミライトピックス

## 道道泊共和線の完成

北海道電力泊発電所周辺における地震・津波などの自然災害と原子力災害の複合災害に備え、避難や救助活動をはじめ救援物資の早期輸送の支援などを目的に、平成25年度より道路整備を進めてきており、先行して供用している発足・国富工区（L=11.0km）に続き、令和6年3月に茅沼工区（L=5.1km）が完成し、これにより、全線（L=16.1km）で供用を開始しました。



## 道南の空の玄関口へのアクセス強化

令和5年度に函館新外環状道路「函館空港IC」と函館空港を連絡する幹線街路3・3・37号空港通が完成し、円滑な都市内交通を確保するとともに機能的な交通ネットワークを形成し、観光・物流ネットワークの強化が図られました。



## 石狩川水系千歳川等の特定都市河川指定

石狩川水系千歳川等（道の管理区間を含む35河川）において、河川整備の加速化に加え、流域における雨水流出抑制対策等を法的枠組みのもと推進し、早期に水害への安全性の向上を図るため、道内で初めて特定都市河川として指定しました。2024（令和6）年に、河川管理者、関係市町などで構成する流域水害対策協議会において流域水害対策計画を策定し、「流域治水」を本格的に実践します。

千歳川流域は「特定都市河川浸水被害対策法」に基づき「特定都市河川」および「特定都市川流域」に指定されました  
※令和5年8月31日指定



## 「暮らしと住まいの2 days ～ほっかいどう住宅フェア2023～」に3万人来場！

令和5年9月16日(土)、17日(日)に道庁赤れんが庁舎前庭とアカプラに暮らしや住まいに関わる49の企業・団体が集い、「北方型住宅」や北海道の家づくりに関する取組や製品、豊かな暮らし方を訴求するイベントを開催。前夜祭を合わせ約3万4000人が来場しました。



## 「2024ふゆトピア・フェア in 北広島」が4年ぶりに開催

令和6年1月10日～11日の2日間、北広島市のエスコンフィールドHOKKAIDOほかを舞台に、「2024ふゆトピア・フェア in 北広島」が開催されました。

道が担当する「ふゆトピア展示会」には、全国各地から36の企業・団体が出展し、積雪寒冷地における快適な冬の生活環境づくりや防災力向上のための雪氷対策技術などが多数展示され、他の会場も含めて全体で5千人を超える来場者が訪れました。



## 建設産業ふれあい展（8回目）を開催

道民の皆様へ、建設産業の役割や重要性について理解を深めていただけるよう、札幌駅前通地下歩行空間において、令和6年1月6日（土）と7日（日）の2日間で開催しました。

建設現場のバーチャルリアリティ体験、お仕事（ものづくり）体験などを通じ、子どもたちや保護者の方々にも建設産業を身近に感じていただきました。



# 動画で見るケンセツミライHOKKAIDO

## 建設業 みんなを支えるものづくり



令和5年10月に供用開始した妹背牛橋（道道増毛稲田線）の完成までの道のりを紹介します。



## 避難道路としての道道泊共和線の整備



避難道路として整備した道道泊共和線の紹介と、整備に携わる若手技術者から建設業の魅力を発信します。

## 北海道のミライ建設(つくる)



北海道の将来を担う若手技術職員が現場監督や研修などを通じて日々向き合っている様子を紹介します。

## 北の担い手たちのために！



将来の社会資本整備を担う子供達に建設業の魅力を知っていただくため職場体験を実施しています。是非この動画を見て、興味をもっていただければ。

## 建設業の未来、新技術と共に



橋梁補修工事における、ドローンによる現場調査から3Dデータを使った会議、3DCADを使った設計を経て、工事施行に至るまでを紹介しています。



## 北海道のミライを建設(つくる)



現在、建設業は就業者の高齢化が進行している一方で、若手の就職者数は減少しています。一人でも多くの方に動画を見てもらい、建設業に興味を持っていただきたいです。

## 北海道を守る仕事～災害対応（災害査定）編～



近年、頻発化・激甚化する自然災害！復旧工事に着手するまでの技術者の奮闘を紹介します。

## 北海道から日本の建築を変える



ゼロカーボン北海道の実現に向けた「北方型住宅ZERO」や建築業の魅力を紹介します。

## まちを造り、生活を守る



市街地の街路整備や道立公園、下水道など都市環境課所管の事業を紹介します。

## 北海道の土木技術職員になろう



北海道の土木技術職員の仕事などをインターネットで公開します。



令和5年度「建設業の魅力発信！動画コンテスト」受賞作品